

平成27年9月16日

各 位

一宮町役場総務課

～戦後70年事業～

被爆クスノキ2世植樹式のお知らせ

町では、戦後70年を迎え戦争体験が風化しつつある中、戦争の悲惨さ、平和の大切さについて改めて考える機会を提供するため、各事業を実施しております。

この度、事業の一環として長崎市から寄贈された被爆クスノキ2世の植樹式を下記のとおり開催いたします。

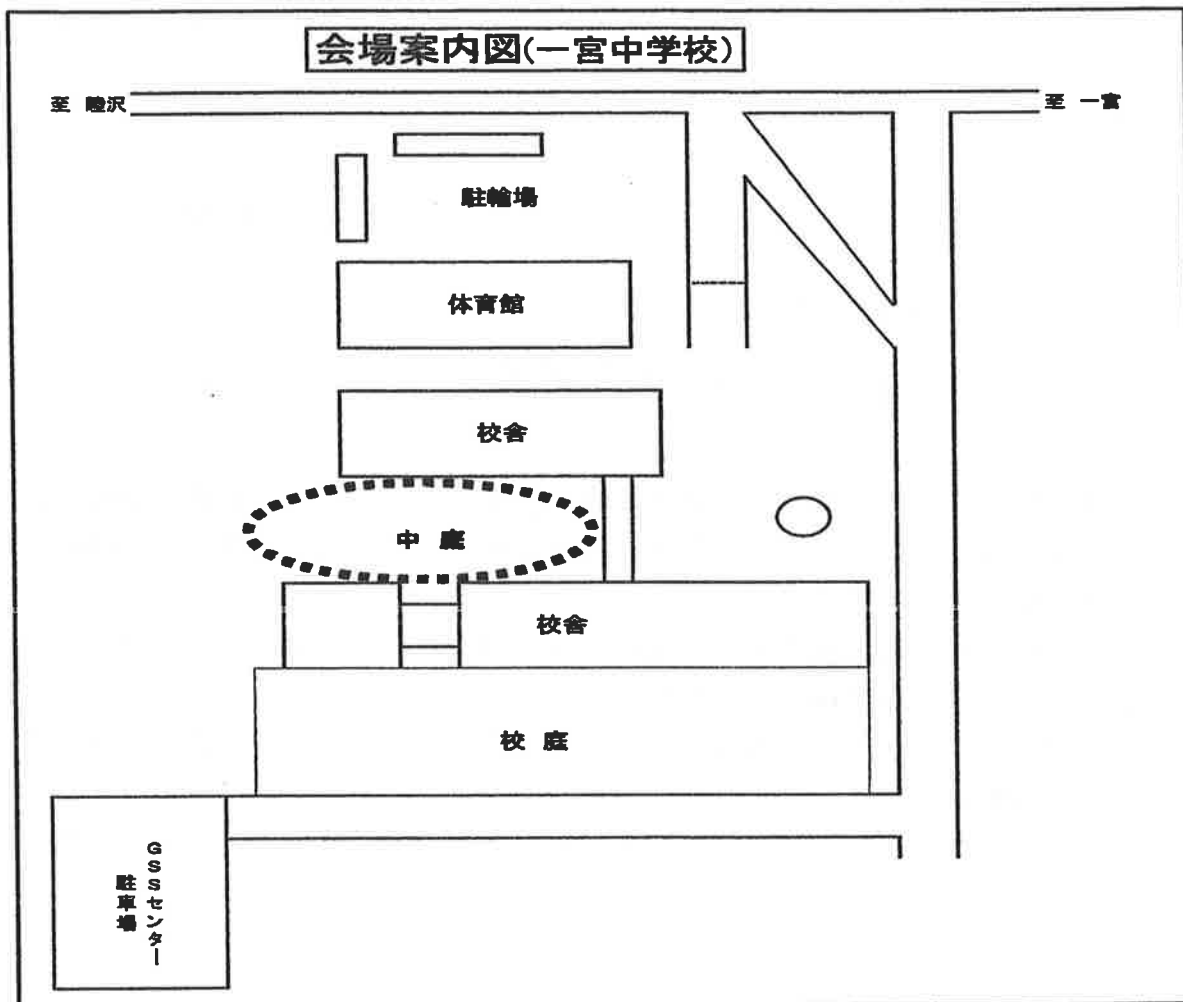
この機会に、核兵器の恐ろしさ、戦争の悲惨さ、そして平和の大切さを改めて考えましょう。

会場には駐車場がありませんので、車でお越しの際はGSSセンター駐車場をご利用ください。

記

1. 場 所 一宮中学校 中庭
2. 日 時 平成27年10月6日(火)
午後1時10分から午後1時30分頃まで
3. その他 小雨決行・荒天中止

裏面あり



被爆クスノキ2世とは・・・

1945年(昭和20年)8月9日、長崎市に原子爆弾が投下され、当時の長崎市人口の3分の2が原子爆弾の犠牲となってしまいました。

焼きただれた山野の中でクスノキは見事に新しい生命の息吹を吹き返し、原爆の復興から立ち上がった人たちに強烈な感動を与えてくれました。爆心地から南東へ約800mにあった山王神社の2本のクスノキは、原爆の強烈な熱線と凄まじい爆風により、大きな被害を受けました。一時は生存も危ぶまれましたが樹勢を盛り返し、現在は長崎市の天然記念物に指定されています。地域の人々や子供たちによって原爆の恐ろしさと生命の尊さを伝えるものとして大切に保存されています。

そして、その種から育てられた苗木「被爆クスノキ2世」は平和の尊さを伝えるため各地に配られています。



お問い合わせ先
 一宮町役場総務課行政グループ
 TEL 42-2112